

平成23年第4回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成23年第4回定例会一般質問通告書順

日付	順番	議 員 名	党及び会派名
11月29日	1	田 中 人 実	公 明 党
	2	酒 井 睦 夫	み ん な ・ 一 新
	3	青 野 直	流 政 会
	4	中 川 弘	流 政 会
	5	西 川 誠 之	み ん な ・ 一 新
	6	宮 田 一 成	流 政 会
11月30日	7	根 本 守	自由民主党・民主党
	8	松 田 浩 三	自由民主党・民主党
	9	海老原 功一	自由民主党・民主党
	10	加 藤 啓 子	み ん な ・ 一 新
	11	斉 藤 真 理	公 明 党
	12	阿 部 治 正	社 会 民 主 党
12月1日	13	楠 山 栄 子	社 会 民 主 党
	14	松 尾 澄 子	公 明 党
	15	笠 原 久 恵	流 政 会
	16	秋 間 高 義	公 明 党
	17	植 田 和 子	日 本 共 産 党
	18	徳 増 記代子	日 本 共 産 党
12月2日	19	乾 紳一郎	日 本 共 産 党
	20	小田桐 仙	日 本 共 産 党
	21	松 野 豊	流 政 会
	22	中 村 彰 男	流 政 会
	23	森 亮 二	流 政 会

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 地方自治法改正により市町村基本構想の策定義務付けが廃止となり、基本構想に即した行政計画の策定義務付け条項も削除されることとなった。今後の各計画策定の方針について問う。</p> <p>(2) 条例（案）や行政計画（案）策定までのパブリックコメント制度について</p> <p>(3) パブリックコメントをかける前に議会の関係委員会へ詳しい説明をすることについて</p>
2 平成24年度予算編成方針について市長に問う	<p>(1) 新年度の財政状況をどう予測しているのか。</p> <p>(2) 「流山市行財政経営戦略プラン」期間中の行財政改革の目標額について</p> <p>(3) 予算編成の基本方針について</p> <p>ア コスト意識をもった予算編成について</p> <p>イ 事業の見直しについて</p> <p>ウ 各種補助金の見直しについて</p>
3 自転車の安全利用対策について	<p>(1) 自転車による事故防止策について</p> <p>(2) 自転車免許証制度の導入について</p> <p>(3) 自転車の安全利用に関する条例の制定について</p>
4 平成24年4月から実施予定の資源物回収の一元化における課題について	<p>(1) 公共施設に常設の資源物回収スペースを設置することについて</p> <p>(2) 高齢者のための戸別回収について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 成年後見制度について</p>	<p>(1) 成年後見制度の概要について問う。                      (2) 流山市の取り組みについて問う。                      ア 法定後見制度の市長申し立ては、平成22年度に5件あったが、いかなるルートで依頼があったのか。                      イ 被後見人となった対象者はどのような人か。                      ウ 後見人となった対象者はどのような人か。                      エ 申し立てに係る費用はどのくらいか。                      (3) 成年後見制度の相談窓口として下記の業務内容について問う。                      ア 市役所                      イ 社会福祉協議会                      ウ 地域包括支援センター                      (4) 仮称「成年後見センター」について問う。                      ア 組織と業務内容及び行政の担当部署について                      イ 市民後見人の育成について                      ウ 民生委員、NPO法人等関係者との連携について                      エ タイムスケジュールについて</p>
<p>2 小学校の英語教育について</p>	<p>(1) 韓国小学校とのTV会議について                      ア 実施時期、参加小学校は決まったのか。                      イ どのような内容を考えているか。                      (2) 外国人留学生の活用を図ってはどうか。                      (3) 英語教育における小中学校のギャップをどう埋めるのか。</p>
<p>3 流山市在住の震災避難者支援について</p>	<p>(1) 震災避難者で現在流山市在住の方は200名以上と聞くと聞くと、その方々の出身地はどこか。また、出身地の自治体といかなる連携をとっているのか。                      (2) 避難者にどのような情報提供や物心両面での支援をしてきたのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 教育行政について</p>	<p>(1) 学校教育費をはじめ、社会教育、保健体育行政を更に進める上で、教育予算の増額を図るべきと考えるが、平成24年度予算への取り組み姿勢について問う。</p> <p>(2) 平成24年度の教育方針と主要施策の方針について平成24年第1回定例会において公表すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 千葉県立柏の葉公園野球場での全国高等学校野球選手権大会千葉県予選を開催していただきたいとの関係団体の要望が多いと仄聞している。関係機関への働きかけをしていただきたいと考えるがどうか。</p>
<p>2 南部地域の諸課題について</p>	<p>(1) 南消防署庁舎建設に伴う基本設計案の概要と課題等について問う。</p> <p>(2) 消防分団員の確保と将来の消防団組織の方向性について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 震災対応にあたった消防職員の心のケアについて問う</p>	<p>(1) 当市からも千葉県緊急消防救助隊の一員として消防職員が陸前高田市に災害派遣され、津波被災地の救援作業に当たりました。公務とは言え大津波による未曾有の事態に直面しながらも奮闘努力された職員に深く感謝すると共に敬意を表するものである。しかしこの救援作業にあたった多くの自衛官、消防職団員に心的外傷後ストレス障害(P T S D)の発症が報告されている。そこで当市からこの任務にあたった消防職員の心のケアについて問う。</p> <p>ア 改めて確認の意味で当市からの消防職員の派遣状況はどうであったのか。</p> <p>イ 任務終了後、消防職員の心のケアはどのような形で行われているのか。</p> <p>ウ P T S Dを発症しているあるいはその疑いのある消防職員はいたのか。</p>
<p>2 放射性物質汚染対処特措法による放射能対策について問う</p>	<p>(1) 去る11月11日に放射性物質汚染対処特措法による取組方針が閣議決定されました。当議会では先の定例議会に於いて放射性物質汚染対処特措法における適切な環境省令基準を設けることを求める意見書を採択しましたが残念ながらその内容は十分なものとは言えません。今後の同法に基づく当市の対応について問う。</p> <p>ア 汚染状況重点調査地域の指定に向け、当市として手を挙げるのかどうか。</p> <p>イ 取組方針と当市の放射線量低減計画では除染対象を年間追加被ばく線量1mSvと同じではあるものの測定方法が異なる。地上1mで毎時0.23<math>\mu</math>Svとする国の基準と地上5cmで毎時0.3<math>\mu</math>Svとする当市の基準に差がある。この点について当局の認識はどうか。</p> <p>ウ 自然放射線量を毎時0.23<math>\mu</math>Sv中0.04<math>\mu</math>Svとする国と毎時0.3<math>\mu</math>Sv中0.12<math>\mu</math>Svとする当市との差をどのように認識しているか。</p> <p>エ 除染費用の国負担は来年1月1日以降に新たに契約・実施したものとしているが同日以前に遡って対象とすべきと考えるが当局の認識はどうか。</p> <p>(2) ますます積み上がる剪定枝の処理と焼却灰の処理について問う。</p> <p>ア 剪定枝等は焼却により減容化し結果8,000Bq/Kg超となったものは国が処理するとなっているがこの焼却するという方針についてどう考えるか。</p> <p>イ 国が処理するとしながら焼却灰の一時保管場所の確保を市町村任せとする国の方針についてどう考えるか。</p> <p>ウ 焼却灰の最終処分場のある小坂町から8,000Bq/Kgを下回るものも受入拒否されている。この状況をどのように打開しようとしているか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 介護問題について 問う</p>	<p>(1) 特別養護老人ホームの待機者の実態とその対策について、平成12年3月（介護保険法が施行されて初年度）の中重度要介護者数は1497名中、1040名であり、平成23年3月時点では同基準で5116名中、3962名と11年間で約4倍となっている。平成23年1月時点での特別養護老人ホームの待機者数は570名であり、平成23年4月開所の流山こまぎ安心館で100名改善されたが、平成23年6月時点では新規97名が増加し、待機者数567名となっている。そこで以下について問う。</p> <p>ア これらの事実をどのように認識しているのか。</p> <p>イ 600名弱の待機者は、先住者が亡くならないと入所できず、5～7年ほど待たねばならないと仄聞しているが、実態はどうか。</p> <p>ウ 入所順番の決定など誰が全体を管理しているのか。</p> <p>エ 市はどのように関与しているのか。</p> <p>オ 現在どのような対策が徹底され、567名の実態はどの程度と把握しているのか。</p> <p>カ 縁故者がいない人や老老介護で耐えられない人など、本当に施設への入所が必要な方への入所は実現できているのか。</p> <p>(2) 平成24年4月より新たに「定期巡回・随時介護対応型訪問介護看護(24時間対応型サービス)」が導入されるが、以下について問う。</p> <p>ア 市は市民のニーズをどの程度とらえているのか。</p> <p>イ 市内における事業者の選定など採用準備は進んでいるのか。また実現は可能か。</p> <p>ウ 実現を妨げている課題があるとしたら何か。</p> <p>エ 市は、これらの課題を克服するためにどのような対策をしたのか。</p> <p>オ 他市で実現できていることが、本市で出来ないと「同じ税金を払っているのに不公平」と言われないか。</p> <p>カ 市内・市外の事業者に実施してもらうには、なにが必要と考えるか。</p>

2 資源ごみの回収  
一元化について

(1) 新資源ごみ回収方法について、資源ごみといえども大事に活用し回収したいと考える。資源ごみは現在の月2回の「行政回収」が廃止され、来年4月から団体回収に切り替わるため、各自治会・老人会・子供会への説明が行われているが、以下について問う。

ア 現在月2回行っている行政回収を廃止する理由は何か。

イ 市民自治会の資源ごみの団体回収については、その方法、体制など異なっているが、その実態を把握しているのか。団体回収の回数や対象団体数、また団体回収していない自治会などの団体数等、詳細な内容について問う。

ウ 実態分析から月4回（団体2回、行政2回）の回収から月2回の団体回収のみとなった場合、集荷の回数、業務委託費、報償金の扱いはどうなるのか。

エ 現在の団体回収組織が高齢化のため、活動を辞退した場合、行政回収で対応するのか。

オ 説明会に出向いたが、納得していない団体はかなりあった。対応策を準備しているのか。

カ 高齢者がごみステーションまで運べない状況については、「隣3軒両隣り」の思想で団体内で対応すべきと当局は考えているのか。

キ 業者が組合を結成し、各団体と交渉するという説明があったが、報償金の額を含め柔軟に対応するよう指導しているのか。例えば現行8円/kgが10円/kgとなる可能性はあるのか。

ケ 回収日の設定についても団体によって希望がある場合、対応は可能か。

質問事項	要 旨
<p>1 平成 24 年 5 月 21 日関東地方で見られる金環食について</p>	<p>(1) 金環食という自然現象に対する学校教育等の現場における対応について問う。 (2) 外部の指導者を採り入れる考えはあるのか。 (3) 観測場所と機材の準備はどのように考えているのか。</p>
<p>2 公共用地の高木対策について</p>	<p>(1) 市内における今年の台風による公共用地の高木の被害は、どのようなものであったのか。 (2) 公共用地の高木への安全管理対策について問う。</p>
<p>3 公共施設の震災対策について</p>	<p>(1) 今まで進めてきた公共施設の耐震改修方法によるメリット、デメリットについて問う。 (2) デメリットについての対応をどのように考えるのか。</p>
<p>4 自転車の安全対策と自転車駐車場対策について</p>	<p>(1) 流山市内におけるピスト自転車利用者の実態について問う。 (2) ピスト自転車の自転車駐車場での対応について問う。 (3) 各自転車駐車場の契約状況の実態について問う。 (4) 待機者対策について問う。</p>
<p>5 土地区画整理区域内の自治会館用地の取得について</p>	<p>(1) 土地区画整理区域内での新規コミュニティの形成について市はどのように支援していくのか。 (2) 自治会を形成しようとしている団体の活動拠点の確保についてどのように考えているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 投票所の設置基準について</p>	<p>(1) 流山市は、他地域に比べて人口が増加している地域である。現在の投票所設置数は情勢に適合しているか。投票所を増やすことが投票率を上げる唯一の理由ではないが、投票者の利便性を考慮すると投票所の数も影響があるかもしれない。そこで、今後の方向性について問う。</p>
<p>2 流山本町におけるツーリズム及びその活性化について市長に問う</p>	<p>(1) 流山本町・利根運河ツーリズム推進室を設置した理由及び同室の目的と成果について問う。                  (2) 流山本町における観光事業の積極的な展開とは、具体的にどのようなことか問う。</p>
<p>3 流山本町の観光拠点と活性化に向けた、バス交通事業の導入について</p>	<p>(1) 流山本町界限における観光拠点とした流通及び観光客の交流人口の増加と地域の活性化を図るためには、バス事業の導入を早期に実現化すべきと考えられるが、当局としては、導入に向けた考えはあるのか問う。                  (2) 流山本町におけるバス事業の具体策について問う。</p>
<p>4 ぐりーんバスのルートの見直しについて</p>	<p>(1) ぐりーんバスのルートを見直して、流山セントラルパーク駅を経由し、市役所もしくは、流山駅東口へ向かうルートについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市の窓口業務改善について</p>	<p>(1) さらに市民に満足していただける市役所を目指した行政窓口サービスの向上について問う。</p> <p>ア 今後行われようとしている3月・4月の繁忙期の「転入・転出専用窓口の設置」について、その全容と掛かる費用と求める効果についてどのように認識しているのか。</p> <p>イ 「転入・転出専用窓口の設置」の効果を最大限引き出すにはフロアマネージャーの導入が必要と考えるがどうか。また、休日や夜間についても専用窓口での対応の要望も予想されるが当局の見解を問う。</p> <p>ウ 窓口をたらい回しにされることが無いよう、総合窓口、ワンストップサービスの実現を市民は求めていると考えるが当局の見解を問う。</p> <p>エ 市民と職員とのよりよい関係を構築するための接遇改善策について問う。</p>
<p>2 行政サービス等の内容を知らせることができる専用機関としてのコールセンターの設置・運用について</p>	<p>(1) 事前に事務の流れをコールセンターで市民が知ることにより窓口対応の時間短縮が期待できると考えるが、費用対効果を含めた見解を問う。</p>
<p>3 FAQ (困った時のよくある質問集) のさらなる充実について</p>	<p>(1) ホームページ上のFAQの充実は効果が期待できると考えるが、さらに各種申請書もパソコンで入力の上出力し押印したものを窓口へ提出するだけで手続きが済めば効果的と考えるがどうか。</p> <p>(2) FAQの充実により窓口業務の充実や、他課等の職員や議員までもが市民に説明ができ、ワンストップにとどまらずフルタイムサービスの実現としてその効果は大きいものとするが当局の見解を問う。</p>
<p>4 職員の処遇改善による市民サービスの向上について</p>	<p>(1) 多くの職員は自席で昼食を摂っているようであるが、照明が消された環境の中、市民から見える場所での食事は労働環境の面からも好ましい状況ではないと考えるがどうか。</p> <p>(2) 窓口対応に極力支障の無いよう交代で昼食を摂り、窓口業務に取り組んでいる現状についてどのように考えているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 区画整理除外区域の下水道整備について</p>	<p>(1) 新市街地地区一体型特定土地区画整理事業における、区画整理除外区域の下水道の整備について、今後の予定を問う。</p>
<p>2 都市計画道路 3・4・8 号美田駒木線の今後の整備計画と美田団地地区の交通問題について</p>	<p>(1) 現在、都市計画道路 3・4・8 号美田駒木線の整備が進んでいるが、現在の整備状況と今後の計画について問う。</p> <p>(2) 当該道路は、途中から柏市の行政区域となるが、その整備も完了することが当該道路の役割を果たすことになる。地元自治会も柏市に要望活動を行うなど、早い整備を望んでいるが、今後の見通しについて問う。</p> <p>(3) 当該道路が整備完了するまで、美田団地地域における、通過車両の増加が懸念されている。美田団地地区における交通安全対策についての考え方について問う。</p>
<p>3 江戸川台西口駅前整備について問う</p>	<p>(1) 江戸川台西口駅前の整備が現在進んでいるが、整備が完成した後、この江戸川台駅の西口駅前広場を、どのように活用していくのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市放射線量低減計画について</p>	<p>(1) 放射線量低減策の実施内容について</p> <p>ア 小中学校、公営、民営の保育所および学童クラブ、について0.3 <math>\mu</math>Sv/hを超えたもののみ校庭のすきとりを実施することにした理由について問う。</p> <p>(2) 公園の除染基準について問う。</p> <p>(3) ごみゼロの日の清掃活動について問う。</p> <p>(4) 放射線量測定器の貸し出し方法について問う。</p> <p>(5) 効果的な除染方法について問う。</p> <p>(6) 放射能対策室の電話対応について問う。</p> <p>(7) 放射能問題に関連したボランティアや寄付について問う。</p>
<p>2 市政に届く市民の声について</p>	<p>(1) パブリックコメントの平均受付件数と回答者の年代別人数について問う。</p> <p>(2) 自治会の加入率と平均年齢について問う。</p> <p>(3) 現役世代の声を吸い上げる方法について問う。</p> <p>(4) 自治基本条例第17条に規定されている市民投票の今後の導入予定について問う。</p>
<p>3 病児保育について</p>	<p>(1) 市内の病後児保育について実施園数と利用状況について問う。</p> <p>(2) 病児保育の導入予定について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 子育て支援について	(1) 子育て支援の一環として、本市においてもブックスタート事業を導入すべきと思うが、当局の見解を問う。
2 市内の幼稚園、保育園、小・中学校等における熱中症対策について	(1) それぞれの、熱中症予防対策の取り組みについて問う。 (2) 来夏に向け、更なる熱中症予防対策として、「シャワーミスト」を設置すべきと思うが、当局の見解を問う。
3 農産物直売所「新鮮食味」について	(1) 事業のコンセプト、狙いとする効果について問う。 (2) 地産地消の観点から、出店農家の感想と市民の反応について問う。
4 流山おおたかの森北口市有地の活用について	(1) 市有地に導入が予定されている行政機能に、期日前投票のできる施設機能を加えてはどうか。当局の見解を問う。 (2) ホール機能について、親子で音楽を楽しむ為のスペースを設ける、または有料託児所を設けるなど、子育て支援の観点の工夫はあるか問う。

質問事項	要 旨
<p>1 放射能汚染から市民の健康を守る対策について</p>	<p>(1) 流山市が打ち出した年間1.64ミリシーベルト、毎時0.3マイクロシーベルトという基準の合理性について問う。</p> <p>(2) ヨウ素やセシウム以外の放射性物質（ストロンチウムなど）の測定を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 「学校等」の放射能測定と除染活動の改善と充実策について問う。</p> <p>(4) 「学校等」以外の市街地の放射線測定と除染に対してどう取り組むのかを問う。</p> <p>(5) 子どもと女性の健康調査が必要と考えるがどうか。</p>
<p>2 放射能汚染物質の管理と処分の方法について</p>	<p>(1) クリーンセンターにおける焼却灰等の管理の現状と今後の見通しについて問う。</p> <p>(2) 森のまちエコセンターの剪定枝等の管理の現状と今後の見通しについて問う。</p>
<p>3 流山市が発注する請負契約などのあり方について</p>	<p>(1) 流山市が発注した請負契約などの中で発生した労働問題について問う。</p> <p>(2) 流山市の公共サービスの質の維持・充実策についての見解を問う。</p> <p>(3) 総合評価入札方式の評価項目に労働者の雇用継続、適正な賃金や労働条件の確保等の項目を加えるべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 ごみ問題について</p>	<p>(1) 一般廃棄物処理基本計画（平成21年～平成26年）の進捗状況について問う。</p> <p>(2) ふれあい収集等、高齢化した地域でのごみ回収方法について問う。</p> <p>ア 一般ごみについて</p> <p>イ 資源ごみについて</p>
<p>2 パブリックコメントについて</p>	<p>(1) 現在のパブリックコメントの実施状況、その周知方法、コメントの分析、回答の方法、市民の反応について問う。</p> <p>(2) パブリックコメントは市民の声を吸い上げる貴重な方法である。一方、パブリックコメントに反映されないサイレントマジョリティという存在について、市はどのように認識されているのか、また、その声を市はどのように吸い上げ、行政に反映させる努力をしているのか問う。</p>

質問事項	要 旨
1 学校現場における震災対策について	<p>(1) 東日本大震災後、防災対策の見直しをどのように進めてきたのか。</p> <p>(2) 児童、生徒の下校、引き渡しの判断基準について問う。また、その際、保護者が帰宅困難になった場合の対応について問う。</p> <p>(3) 学校施設の書棚、ロッカー、下駄箱などの転倒防止策について問う。</p>
2 高齢者の見守りについて	<p>(1) 地域住民による高齢者見守りの必要性と本市の現状について問う。</p> <p>(2) 認知症高齢者の行方不明時の捜索協力体制について問う。</p> <p>(3) 健康サポート、介護相談など 24 時間対応の事業について見解を問う。</p>
3 難聴児の支援について	<p>(1) 障がい者手帳の交付対象とならない難聴児のための補聴器購入助成制度を新たに創設し、早期での言語能力の発達を支援すべきと思うがどうか。</p>
4 特別支援学級について問う	<p>(1) 担任教員の配置はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 専門性や資質向上のための研修及び学校全体の取り組みについて問う。</p> <p>(3) 発達障害等の子どもを支援するため教育委員会と健康福祉部門との連携を図るべきと思うがどうか。幼児教育支援センターの役割についても合わせて伺いたい。</p>
5 地域要望について	<p>(1) 利根運河を散策する方が増えており、運河河口公園にトイレの設置を望む声があるがトイレを整備する考えはあるか。</p> <p>(2) 新市街地地区の区画整理事業における、東初石 5 丁目、6 丁目、十太夫地先の交通安全対策について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 東部地域の交通網について</p>	<p>(1) 都市計画道路3・4・10号市野谷向小金新田線の費用対効果について問う。</p> <p>(2) 名都借跨線橋を含む前ヶ崎、向小金地区の交通対策について問う。</p> <p>(3) ぐりーんバス松ヶ丘ルートと野々下八木南団地循環ルートの接続の可能性について問う。</p> <p>(4) ぐりーんバスに替わる向小金、前ヶ崎地区への交通方策について問う。</p>
<p>2 汚水、雨水対策について</p>	<p>(1) 調整区域の下水道事業について問う。</p> <p>(2) 向小金地区の雨水対策について問う。</p>
<p>3 東小学校の諸問題について</p>	<p>(1) 今後の校庭のあり方について問う。</p> <p>(2) プールの移設について問う。</p>
<p>4 流山市の放射能対策について</p>	<p>(1) 放射能測定場所の現状と今後の対策について問う。</p> <p>(2) 放射能測定器の貸し出しの現状と今後の見通しについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 都市計画道路 3・4・10 号市野谷向小金新田線の整備について市長に問う</p>	<p>(1) 都市計画道路 3・4・10 号市野谷向小金新田線の整備について問う。</p> <p>ア JR 常磐線で分断された向小金地域には、はしご車等の大型緊急自動車が入れる道路がない。現状では、松戸の根木内交差点を回らざるを得ないのが実態である。沿道建物の倒壊の危険性を考えると、名都借跨線橋や向小金地域の狭い生活道路は、大規模災害時に機能するとはいえない。また、向小金地域は柏消防署の応援区域、協定区域になっているといっても、大規模災害時には、自分の区域の対応で手一杯の状態となる。流山市の地域は、流山市で、守らなければならない。そのためには、都市計画道路が、向小金地域になくってはならない必要不可欠の道路である。早急に着工すべきと考えるが、市長は、どのように考えておられるのか。</p> <p>イ 向小金地域には、費用便益計算の走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の 3 項目の計算では、到底計算できない、数多くの特殊な地域性を抱えている。幹線道路整備に伴う効果としては、付近の生活道路の環境改善と安全の確保、災害時の代替道路の確保等、多岐多様にわたる効果が存在する。これらの効果について、市長は、どのように考えておられるのか。実施が難しいからという理由で断念すべきではないと考えるが、どうか。</p> <p>ウ 都市計画道路 3・3・28 号中駒木線の東部野田線にくぐるアンダーパスの事業費との比較は、どのようにされたか。まだ住んでいる人も少ない、新たに開発されているつくばエクスプレス沿線開発事業に関する都市計画道路は、着々と建設されている中で、既存の住宅地に計画された都市計画道路は、40 年たっても未だにできず、挙げ句の果てに事業を断念されては、立体交差事業の説明会を受け JR による向小金地域の分断解消を待ち望んでいた住民は、たまったものではない。このままでは、新市街地と既存住宅地、とりわけ向小金地域との地域間格差は、ますます拡大していくと考えるが、市長の見解を問う。</p>

<p>2 教育行政について</p>	<p>エ 都市計画道路3・4・10号市野谷向小金新田線の国の交付金について6月定例会の一般質問の答弁では、交付金は出ないと伺ったので、国会議員や県議員を通じて国や県に確認したところ、交付金は出ないとは言っていないとのことである。市が都市計画道路の整備計画を出せば、国は、交付金を出します、という回答を伺っている。国や県が言っていないことを、あたかも千葉県が指導したかのように解釈して、答えるのはなぜか。</p> <p>オ 名都借跨線橋を拡幅して代替道路にされようとしているが、拡幅は本当にできると市長は考えるのか。また、現在の跨線橋には、歩道がなく、歩行者は、階段で上るようになっているが、足が不自由な高齢者や障害者には渡ることができない。ただ単に、交互通行のため道路を拡幅しただけでは、意味がない。バリアフリー法に基づく歩道は、できる見込みがあるのか。これら拡幅工事について近隣住民の理解は得られると市長は考えているのか。併せて問う。</p> <p>カ 平成20年3月の事業化業務委託では現道取り付けとなっていたのに、なぜ平成23年5月の業務委託で国道、県道を拡幅することになったのか。道幅の狭い県道をなぜ市が拡幅しなければならないのか。市長は、その経緯を知っていたのか。国道、県道の拡幅工事の費用はそれぞれいくらか。また、アンダーパス構造では、JRとの軌道協議で、軌道下道路の土かぶりが2メートル大きくなったとのことであるが、軌道下道路の土かぶりが、平成20年3月の事業化業務委託より、2メートル大きくなったのは、なぜか。土留め用工事費、仮設費の追加、雨水排水処理及び水道管の切り回しで、約10億円の追加となったとあるが、それぞれいくらになるのか。</p> <p>(1) 情操教育の推進について問う。</p> <p>ア 各学校が、児童生徒の感想や保護者の声等も反映させて、意図的・計画的に効果のある企画がつけられるよう企画立案に必要な情報提供や学校間の情報の共有化は、どのように行われているのか。また、現在の情操教育推進事業の予算配分では、各学校に行き渡るのは難しいと考える。来年度に向けて、予算の充実をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 教員のメンタルヘルス対策の推進について問う。</p> <p>ア 教育委員会として、教職員のメンタルヘルス対策には、どのように取り組んでいるのか。また、精神疾患による休職者に対しては、どのような復職支援をしているのか。</p>
-------------------	--

<p>3 グリーンバス事業について</p>	<p>(1) 向小金・前ヶ崎地域のグリーンバスについて問う。  ア どのような経緯でグリーンバスを断念されたのか。今までの警察との協議の中で、もう少し早く警察の意向、判断を検討委員会に知らせることができなかったのか。また、説明会で示されたグリーンバスの代替案では、地元自治会でお金を集めるとのことであるが、そのようなことが自治会にできると考えているのか。できもしない代替案の提示でその場しのぎをしているとしか考えられない。東部地域図書館が、来年4月にオープンしてもJRに分断され、交通手段がない高齢者には、東部地域図書館や出張所に行くことができない。向小金地域の交通アクセスの問題を当局は、今後どのように考えているのか。</p> <p>(2) 松ヶ丘ルートと野々下ルートのグリーンバスの接続については、どのように検討されたのか。早急に南柏駅から流山おおたかの森駅までのグリーンバス路線を開設すべきと考えるがどうか。</p>
<p>4 交通安全対策について</p>	<p>(1) 向小金福祉会館前から、たけの子ルーム前までの通学路の歩道拡幅整備の進捗状況と今後の見通しについて問う。</p> <p>(2) はやぶさの森の住宅地と長崎小学校を結ぶ通学路の歩道拡幅整備の進捗状況と今後の見通しについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 放射能汚染から市民の命と健康を守る対策について</p>	<p>(1) 東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能除染対策は緊急の最重要課題という認識の有無など、基本姿勢について市長に問う。</p> <p>(2) 市内測定箇所を公共用地ばかりではなく民有地を含めるなど、大きく拡大する必要があると考えるがどうか。</p> <p>(3) 森のまちエコセンターの実情と対策について問う。</p> <p>ア 剪定枝などが野積みされているが、自然発火の対策はどうか。</p> <p>イ 森のまちエコセンターの人員体制を強化すべきではないか。</p> <p>ウ 周辺住民への情報提供などを強めるべきではないか。</p>
<p>2 病気、失業、破産等による生活の緊急非常事態から市民のくらしを守る対策について</p>	<p>(1) 生活保護制度も社会福祉協議会が扱う各種生活福祉資金も受けられない場合の「緊急支援」を検討する考えはないのか。</p> <p>(2) 社会福祉協議会の業務は広がっており、市としての支援対策を強めるべきではないのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 放射能汚染廃棄物問題について</p>	<p>(1) 放射能汚染廃棄物の処理について                      ア 今後の課題をどのように捉えているのか。                      イ 土壌、汚泥、集水枡汚泥、落葉、排水など、放射能廃棄物の取り扱いについて問う。                      ウ 放射能廃棄物の仮置き場について流山市の方針を問う。</p>
<p>2 資源物の回収等について</p>	<p>(1) 来年 4 月 1 日から資源物回収の行政回収をやめることについて問う。                      (2) 官から民への手法ではごみ減量にはならないのではないか。                      (3) 来年 4 月 1 日からのプラスチック類の分別の変更について                      (4) 高齢化の中、戸別回収が必要と考えるがどうか。</p>
<p>3 ぐりーんバス（仮称）向小金・前ヶ崎ルート の検討経過と今後の方策について</p>	<p>(1) （仮称）向小金・前ヶ崎コースは「道路が狭隘で危険性が高いため」「バス運行に適さない」の理由で運行が中止とのことだが、この街に適した住民の足確保策として、デマンド方式が合うのではないかと考えるがどうか。</p>
<p>4 消防体制の強化について</p>	<p>(1) 10 月 19 日、午後 3 時 15 分ごろ向小金 3 丁目で家屋が全焼し、1 人の方が亡くなった。当地域は道路が狭隘なところもあり、一刻も早く火災現場に着き、初期消火に対応するミニ消防車が必要と考えるがどうか。                      (2) 3 月 11 日の東日本大震災の教訓からも消防職員の増員と消防力の強化が必要ではないか。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢を問う	<p>(1) J A、日本医師会など多くの国民・階層が反対し、本市農業への影響も心配される中で、野田首相が T P P への参加を表明したことについて、市長の見解を問う。</p>
2 来年度予算編成について市長に問う	<p>(1) 2012年のわが国の経済情勢の特徴と流山市に与える影響についてどう捉えているか。</p> <p>(2) 大震災の体験と放射能汚染の深刻さを考えれば、安全・安心を最優先に、福祉と防災のまちづくりを進める観点を太く貫くべきと考えるがどうか。</p> <p>ア 放射能除染対策費の抜本的増額について</p> <p>イ 介護保険料、国民健康保険料、保育料など住民負担の軽減について</p> <p>ウ 市民福祉・市民サービスの見直しについて</p> <p>エ 公共工事や調達、委託、補助制度など、市政全般における地域内循環の追及について</p> <p>オ つくばエクスプレス沿線巨大開発の凍結・延期について</p>
3 災害対策について	<p>(1) 東日本大震災を機会に、流山市地域防災計画の検証と見直しをどのように行うのか。</p> <p>(2) 内水氾濫への対策、地盤液状化対策や建物・住宅の耐震化など安全・安心のまちづくりについて</p>
4 行政改革について	<p>(1) 東日本大震災では、被災地で住民のために献身的に働く公務員の役割が見直されているが、県下一少ない職員数をさらに削減する定員適正化計画でいいのか。</p>

質問事項	要 旨
1 放射能対策について市長に問う	(1)放射能低減計画を含め本市における今後の取り組みについて
2 教育行政について	(1) 小中学校併設校について問う。 ア 11月4日の設計業務の技術提案公開ヒアリングの結果について イ 基本計画の諸課題や子どもの学校生活について
3 入札制度のあり方について	(1) 流山セントラルパーク 駅前市有地活用支援業務（平成23年度）委託について、総合評価一般競争入札審査会により、八千代エンジニアリング株式会社を決定したが、埼玉県内各市では本年10月から最長6か月の指名停止処分となっている。市として情報収集を行い、必要な指導とともに、不正行為を許さない入札制度の確立が必要ではないか。
4 福祉行政について	(1) 震災の前後で地域福祉に対する行政のかかわり方や役目が大きく見直されているが、流山市地域福祉計画（素案）や流山市高齢者支援計画（素案）等には行政の役割等をどのように位置づけているのか。

質問事項	要 旨
<p>1 ペーパーレス化推進の現状と今後について</p>	<p>(1) 環境への配慮、経費節減、仕事の効率化という観点からも、ペーパーレス化推進をすべきと考えるが、現状と対策、今後の見通しについて問う。</p>
<p>2 ポリオ不活化ワクチン導入について</p>	<p>(1) 神奈川県が、乳幼児に定期接種しているポリオ（小児まひ）の予防接種で、まひの副作用がないとされる不活化ワクチンを希望者に有料で提供する方針を決めた。厚生労働省は来年度末の不活化ワクチン導入を目指しているが、現在は未承認であるため、健康被害の補償対象外となっている。自治体で秋のポリオ予防接種が始まる中、乳幼児を持つ保護者にとっては、定期接種の生ワクチンか、自費での不活化ワクチンか、それとも来年まで待つか悩ましい問題となっている。国は早ければ、来年度中に不活化ワクチンを組み込んだ四種混合ワクチンを導入する予定であるが、今秋のワクチン接種をどうするかは保護者が判断するしかない。「子育てにやさしいまち」を標榜している当市も、不活化ワクチンの導入推進と、接種費用の補助などの対策を、全国に先駆けて講じる必要があると考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 江戸川新橋道路建設事業の進捗状況について</p>	<p>(1) 高架構造への道路構造変更に伴う住民説明会以降の住民要望の事業計画への反映について問う。</p> <p>(2) 都市軸道路建設による既存市道への通行障害及び地域自治コミュニティ分断の対応について問う。</p> <p>(3) 新橋道路建設に伴う和田堀水利機能に関わる改善対策について問う。</p>
<p>2 三輪野山第2区画整理地内の公園整備促進について</p>	<p>(1) 新たな住民を迎え年々街として熟成しつつある三輪野山地区において、子どもが遊べる遊具がある公園が少ない。市として当地区内の公園整備についてどう考えているのか問う。</p>
<p>3 流山共通ポイントカード事業の現状と課題について</p>	<p>(1) 継続的な商業活性化を目途に今年5月28日スタートした流山商業協同組合による流山共通ポイントカード「ながぼん」のカード普及と加盟店、並びにその利用状況について問う。</p> <p>(2) 全市展開としてスタートしたこの事業の主たる目的である商店街の活性化対策の普及啓発の取り組みの状況とその課題について問う。</p>
<p>4 地域防災計画の認識と具体的な行動規範について</p>	<p>(1) 未曾有の東日本大震災を受け、考察される本市における地域防災計画・ハザードマップ等の認識とその避難等を含めた具体的な地域住民行動の実践的な活動について問う。</p> <p>(2) 地域自治のあり方とともに、各般にわたる通年活動の大半は地域サポートであり、とりわけ震災等における最も密接な消防団活動に対する市の対応と住民への周知について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) 地域主権改革への基本的な考え方について問う。                      ア 昨今の地域主権改革への評価を問う。                      イ 千葉県に旅券発給事務の権限移譲を打診すべきだと思うがどうか。</p> <p>(2) 行政情報の発信方法の基本的な考え方について問う。                      ア 多様化する行政情報の発信方法についてルールもしくは条例を策定するなど整備すべきだと思うがどうか。</p>
<p>2 放射能対策について</p>	<p>(1) 市民参加型の対策について体制作りを整備すべきだと思うがどうか。</p> <p>(2) 放射能対策として小児健康診断に関する事業を実施すべきだと思うがどうか。</p>
<p>3 交通政策について</p>	<p>(1) 交通シームレス化（時間・料金等）に向けて、鉄道事業者やバス事業者と調査研究をする協議の場を設けるべきだと思うがどうか。</p> <p>(2) ぐりーんバスのサービス・利用率向上策の一貫として定期券や回数券導入の可能性について問う。</p>
<p>4 まちづくりについて</p>	<p>(1) 江戸川台駅西口整備について、事前の周知徹底は問題なかったのか。</p> <p>(2) 事前周知のルール作りについて問う。</p>